

～子ども支援フォーラム～
秦野市社会福祉協議会
の取り組み

社会福祉法人 秦野市社会福祉協議会
生活支援班長 小泉 和代

社会福祉協議会って？

▶ 「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり（地域福祉）」の実現をめざして、住民主体の理念に基づき、市民の皆さんとともに地域づくりを進めていく民間団体です。

• 社協は、国、都道府県、市町村のそれぞれに組織されており、社会福祉法第109条に「地域福祉の推進役」として位置づけられています。

• 地域の方や社会福祉関係機関などの参加と協力を得ながら活動することを特徴とし、「自主性」と「公共性」という2つの側面をもった組織です。

社会福祉協議会の強み

○情報が集まりやすい！？・連携しやすい！？

・協議体であること

自治会 民生委員児童委員 ボランティア 市内社会福祉法人等と協働して支援が出来る。

・ネームバリュー

福祉のイメージ よくわからないけど来てみた
地域の関係機関と連携がとりやすい

・行政との距離が近い

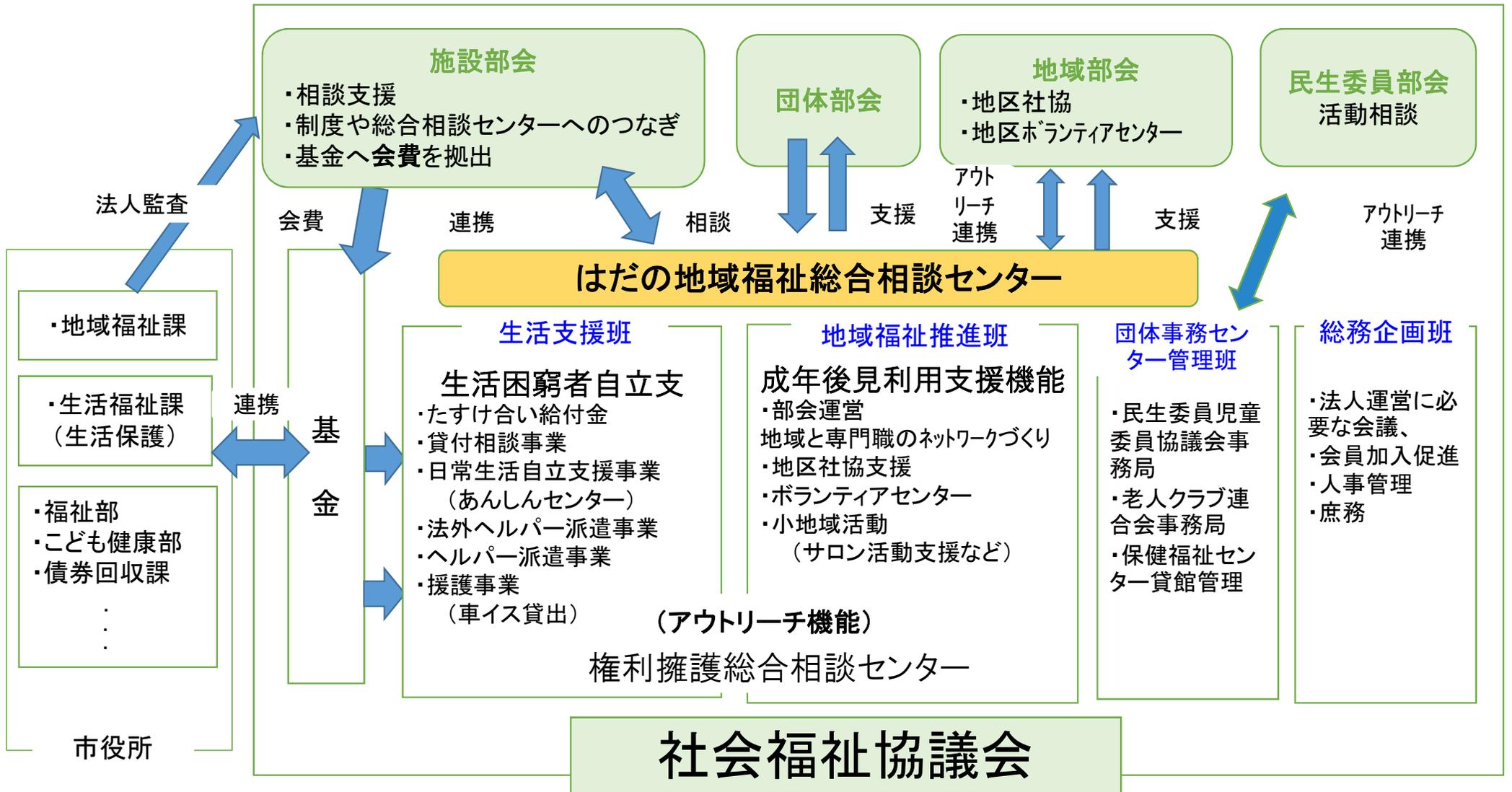
○困りごとに対し、直接支援が出来る

小口貸付、日常生活自立支援事業、食料支援、ホームヘルパーの派遣、ボランティアなどさまざまな事業と組み合わせて支援が出来る。

○状況に応じて、柔軟な対応が出来る。

制度外の対応や、ひとまずこれが必要ということにも対応出来る。

秦野市社会福祉協議会 事業と連携のイメージ



秦野市社会福祉協議会の「子どもの支援」について

▶ 生活困窮者への自立相談支援

はだの地域福祉総合相談センター『きゃっち。』

生活のさまざまな困り事に対して、相談員と一緒に考え解決へのお手伝いをします！（仕事がみつからない・・・ 家賃が払えない・・・）

▶ ハートフルサービス（子育て支援ヘルパー）

生後1年以内のお子さんのいるご家庭にホームヘルパーが訪問し、沐浴や家事のお手伝いをします。

初めての子育てで不安なママやパパが安心して子育てできるようにサポートします！

▶ 子育てサロン・居場所づくり

時代を担う子ども達を地域で見守り支え合う子育てサロンや居場所づくりを応援しています！

● はだの地域福祉総合相談センター 『きゃっち。』のめざすもの

- ① SOSが出せる地域づくり
- ② 福祉制度の狭間の解消
- ③ 支援の総合化

愛称『きゃっち。』の由来

- ▶ どこに相談したらよいかわからない相談を、
- ▶ 事務所で待つだけでなく、地域に出向いて、
- ▶ 自分から助けてと言わない、言えないままにいる人の隠れたニーズを、

受け止める

『きゃっち。』の句点『。』の意味

相談者の傾向 1

①最初の相談の段階で課題が山積している

- ・ 疾病、障害
- ・ 負債、滞納
- ・ 就労（派遣、解雇、継続しない）

②計画的にお金を使えない？

（家計の優先順位が正しく行えない）

（目先の支援を望む、継続的な支援を望まない）

- ・ 長期的に考えることが苦手
- ・ 各種手当の支給月は、家計が潤う
- ・ 国籍による文化、教育等に関する考え方の違い
- ・ キャッシング上限まで借入

相談者の傾向2

③両親共に疾病及び障害を抱えている

(身近な大人は両親)

- ・ 多子
- ・ 子どもにも障害
- ・ 障害のある子と健常の子

④生活の仕方を知らない・教わっていない環境で育った?

- ・ あるお金を工夫して生活することが出来ない。
- ・ 税金や保険料の仕組みを知らない。
(社会保険の加入)
- ・ 適正な環境 (自分に合った) 生活の仕方を教わらなかった。

相談者の傾向 3

⑤親の年金で生活している40～50代の子ども。

⑥60歳代仕事が無くなった。今後年金も貰えない。

⑦70歳以上の生活困窮世帯が多い。

- ・ 国民年金のみ
- ・ 無年金
- ・ 2か月に1回、振込まれた額をうまくつかえない
⇒アパートの更新料 ご近所づきあい

▶ 自立に向かっているにもかかわらず、一つ問題が起きること
で、生活困窮に戻ってしまう傾向にある。

『きゃっち。』

どんなふうに対応してるの？

▶ 入ってくるお金と出ていくお金の整理

家計の収支表を一緒に作る ⇒ 債務整理（法テラス）・税金等の滞納（市役所債権回収課等との調整・同行）・水道料、電気料の滞納（止栓延長、通電延長等の交渉と支払の確認）

▶ 入ってくるお金を増やす

- **就労支援** ⇒ ハローワークや障害者就労支援事業所と連携
⇒ 就労支援業務職場体験準備支援金（社協独自事業）
⇒ どれぐらい増やせばいいか・・・

希望職種とできる仕事

履歴書の書き方

スーツの貸出し

- 各種手続きの書類作成の手伝い、必要に応じて関係機関への同行

『きゃっち。』

どんなふうに対応してるの？

▶ その他

- ・ 障害者手帳の取得のための情報提供、書類作成の助言、窓口同行等
- ・ 医療機関への受診の促しや連絡、調整、同行等
- ・ 家族等への代弁、説明
- ・ 福祉サービス等の導入など関係機関との連携、役割分担
- ・ 生活保護申請

▶ 課題解決のための社会福祉協議会の事業との連携等

- ・ たすけ合い給付金
- ・ 小口貸付
- ・ 日常生活自立支援事業（あんしんセンター）
- ・ ふれ愛サービス（ハートフルサービス）

たすけ合い給付金事業

事業の目的

社会福祉法人による地域公益事業として、今ある福祉制度では解決することが難しい、制度の狭間にある課題に応え、世帯が自立することを目的とする。

○生活費の給付

- ・食料の購入支援・食料の現物給付
- ・光熱水費の支払い・ハローワークまでの交通費・履歴書の購入費

○就学費用の給付

- ・修学旅行の際に必要なカバンの購入や自由行動時の旅費など
- ・部活動で使用するユニフォームの購入等
- ・ランドセルの購入・制服の購入

○就労支援業務職場体験準備支援金

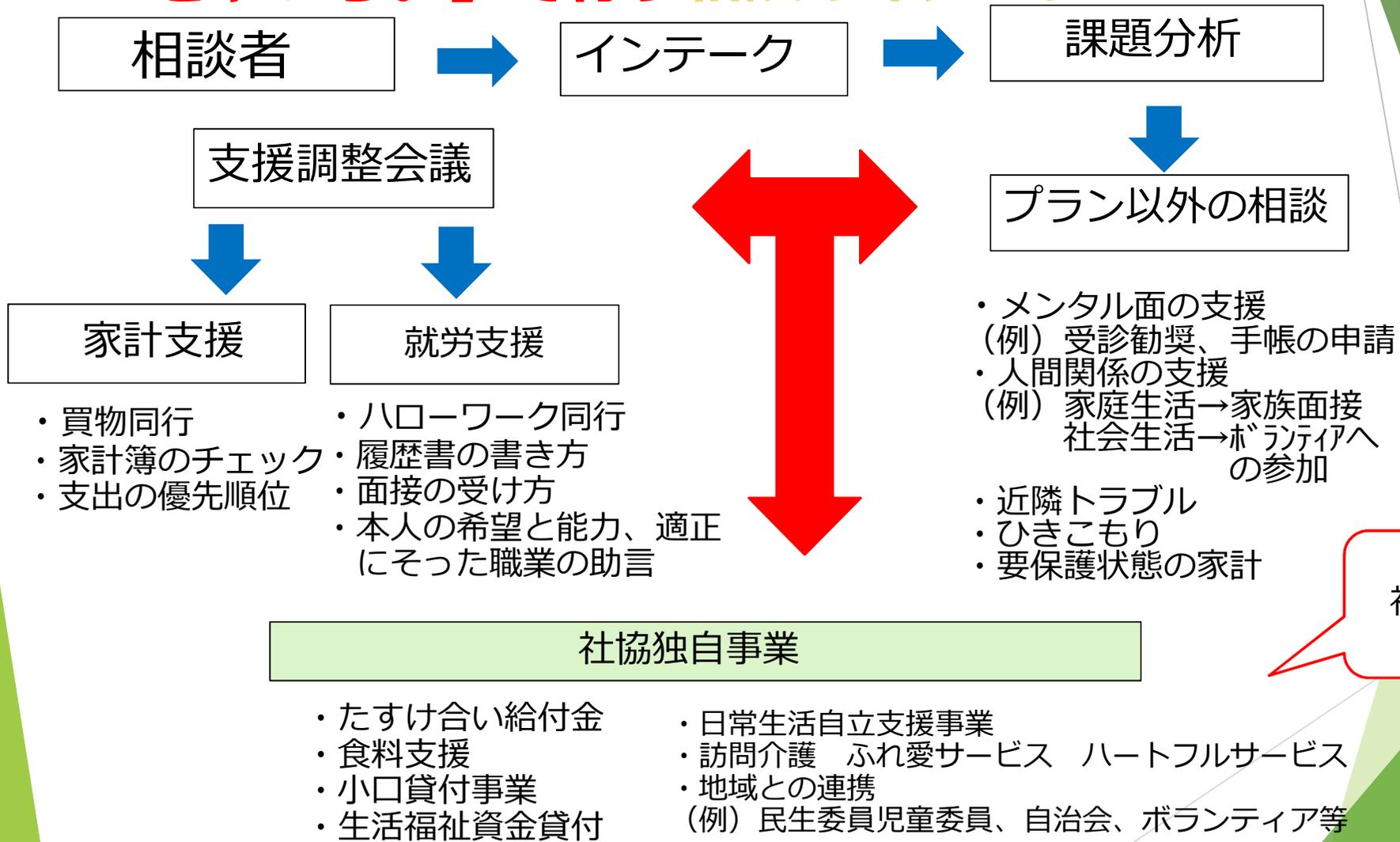
ハローワークや就労支援相談機関等と連携してもなお就職に結びつかない方に対し、市内の本事業に賛同して下さる事業所で職場実習を行うことで、社会復帰又は就労につなげる為の相談助言及び就労準備支援金を給付する。

継続的な家計管理
～支出の優先順位の確認など～

アウトリーチ！
します

現物の支給または
支払に同行

● 『きゃっち。』で行う相談のイメージ



家計支援

- ・買物同行
- ・家計簿のチェック
- ・支出の優先順位

就労支援

- ・ハローワーク同行
- ・履歴書の書き方
- ・面接の受け方
- ・本人の希望と能力、適正にそった職業の助言

課題分析

プラン以外の相談

- ・メンタル面の支援
(例) 受診勧奨、手帳の申請
- ・人間関係の支援
(例) 家庭生活→家族面接
社会生活→ボランティアへの参加
- ・近隣トラブル
- ・ひきこもり
- ・要保護状態の家計

社協独自事業

- ・たすけ合い給付金
- ・食料支援
- ・小口貸付事業
- ・生活福祉資金貸付
- ・日常生活自立支援事業
- ・訪問介護 ふれ愛サービス ハートフルサービス
- ・地域との連携
(例) 民生委員児童委員、自治会、ボランティア等

社協の強み！

秦野市における 社会福祉法人による「地域公益事業」の展開

- センター構想がめざしている地域福祉の推進、福祉制度の狭間の解消、支援の総合化の実現には、社会福祉法人の組織力と専門性の発揮が不可欠



はだの地域公益事業基金の設立

▶ 社協と社会福祉法人との間で協定を締結

・『きゃっち。』と参加法人との窓口となる相談支援員の指名

・生活困窮者の相談支援事業等の財源となる会費の拠出

●ハートフルサービス事業（子育て支援ヘルパー）

※ どんな家庭が対象なの？

秦野市内で生後1年以内の子を養育している家庭です。
概ね生後3か月までの育児の一番大変な時期の訪問が中心です。

※ どんな事をしてくれるの？

- ・家事のお手伝い（調理、買物、掃除、洗濯等）
- ・沐浴やおむつ交換時のお母さんのお手伝い…など、

※利用料金は？

お子さんの誕生から1か月まで → 1時間あたり 500円

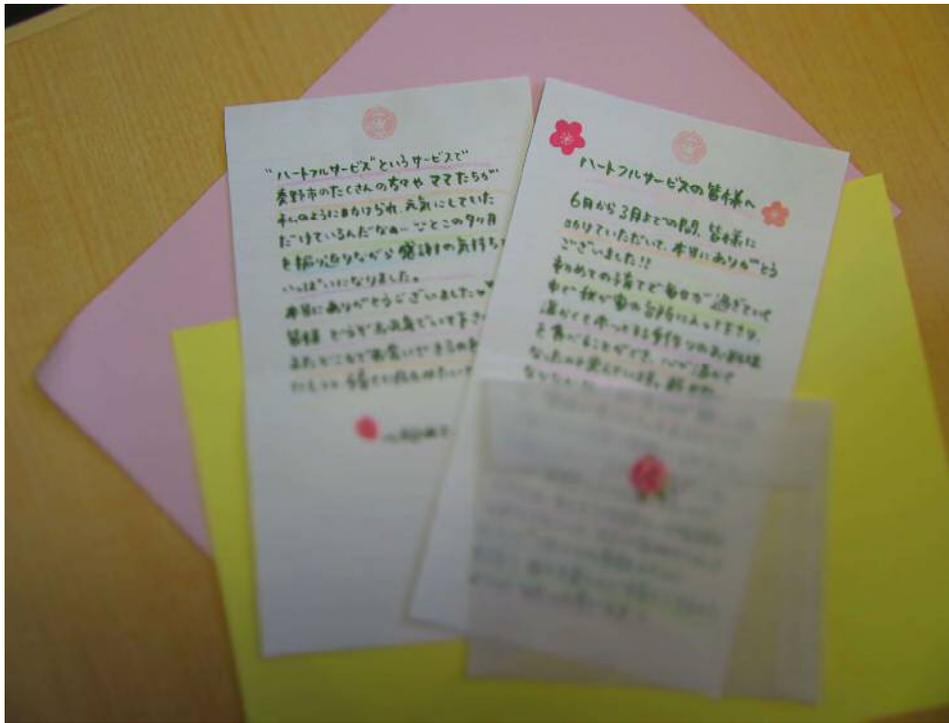
1か月を超え3か月まで → 1時間あたり 750円

3か月を超え12か月まで → 1時間あたり 1,500円

※住民税非課税世帯の方にはさらに低額の料金設定となります。



マスコットキャラクター
ハートフルちゃん



利用者さまから
お礼の手紙が届きました！

平成29年度 対応状況

訪問世帯数 15世帯

問合せ・登録のみ 12世帯

派遣回数 263回

●子育てサロン・居場所づくり

「子育てサロン」は親子で気軽に集い、楽しく遊びながら仲間づくりや情報交換ができる場所のことです。

秦野市内でも、民生委員児童委員さんや地域のボランティアさんが中心となり、お母さんたちにちょっと一息つける時間をプレゼントしようと活動しています。

市内の子育てサロン数 13か所（8月1日現在）

参加したママやパパからはこんな声が…

- ・ママ友ができました♪
- ・一人で悩みを抱えることが少なくなりました。
- ・子育ての疑問や不安を話せる人ができました。
- ・気持ちに余裕ができ、自分の子どもを客観的にみられるようになった気がします。

主な活動場所は
公民館やこども園
開催回数は
月2回から年2回ま
でと地域によって
様々です



秦野市社協では、子育てサロン活動の支援策として、スタートアップのための補助金やサロンの担い手育成のための講座開催などを行っています。

<ボランティア講座>



サロンとは何か、活動する上での注意点、環境的配慮などの基礎知識



乳児・幼児の心肺蘇生や応急手当

ホームページやSNSなどを活用し、市内の子育てサロン等の情報も配信しています。

地域に広がる
子育てサロン



キーワードは・・・

地 域！

ち い き



キーワードは「地域！」

生活困窮者自立支援制度

〈制度の意義〉

生活保護に至っていない生活困窮に対する「第2のセーフティネット」包括的な支援体系

〈制度がめざす目標〉

- 生活困窮者の自立と尊厳の確保
- 生活困窮者支援を通じた「地域づくり」
 - ・早期把握や見守りのための地域ネットワーク
 - ・生活困窮者が社会とのつながりを実感しなければ主体的な参加に向かうことは難しい。

制度紹介・紹介先とつなぐ（情報提供・共有）

子どもの育ち

地域での声掛けや見守り、居場所、多世代交流、親とは違う大人との関わりなど、地域に期待することは大きい。そのための「地域づくり」

ご清聴ありがとうございました。

